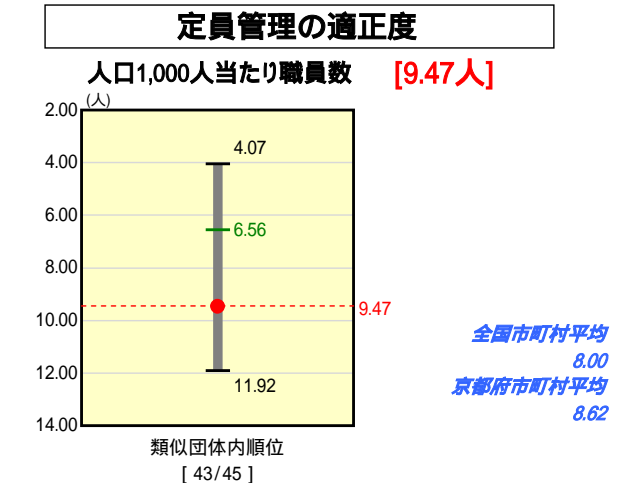
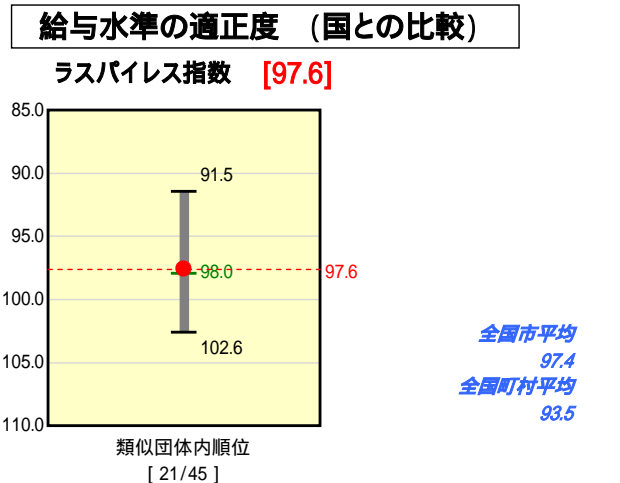
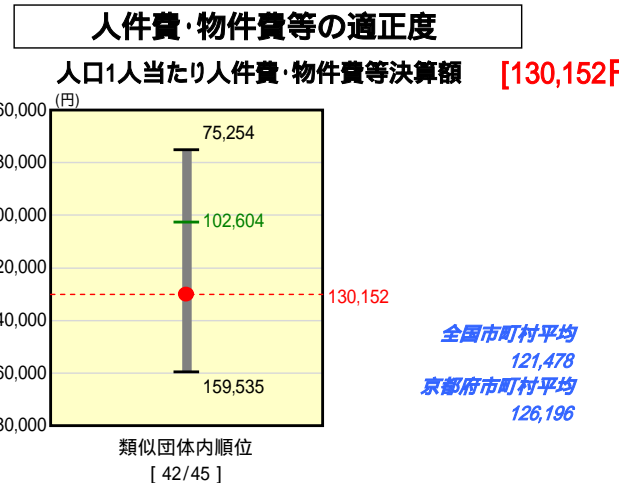
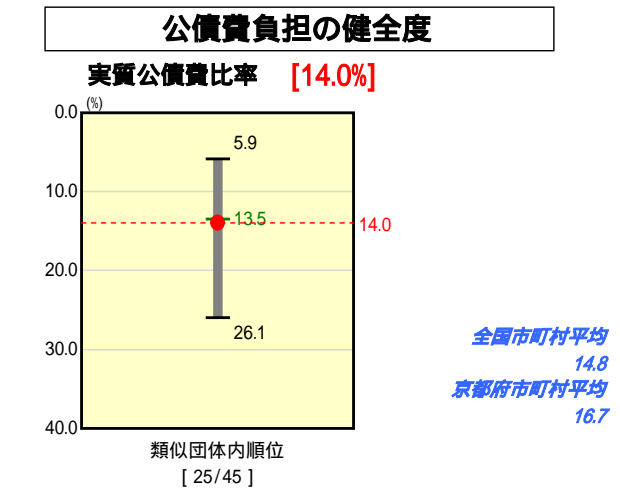
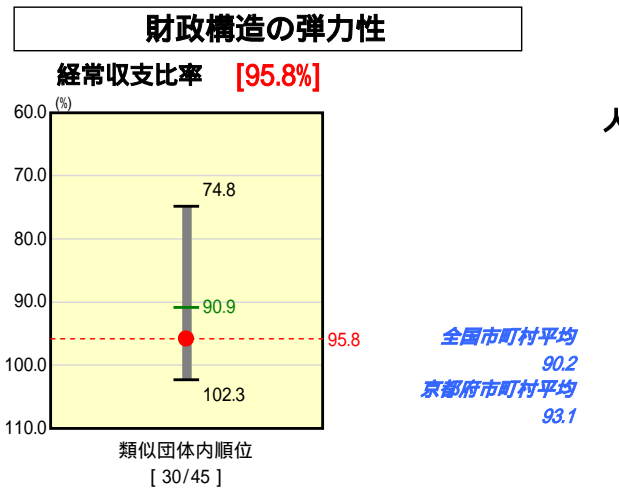
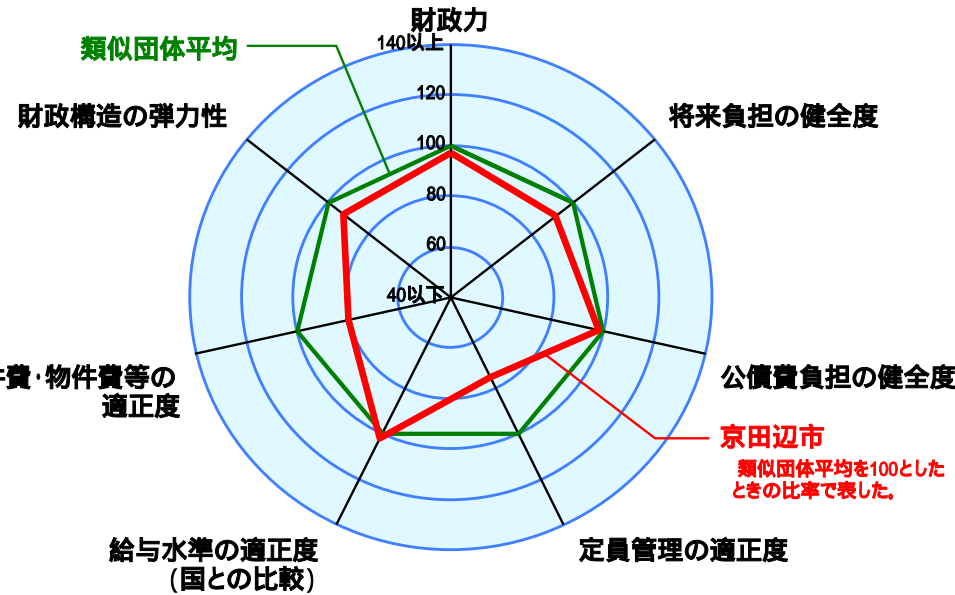
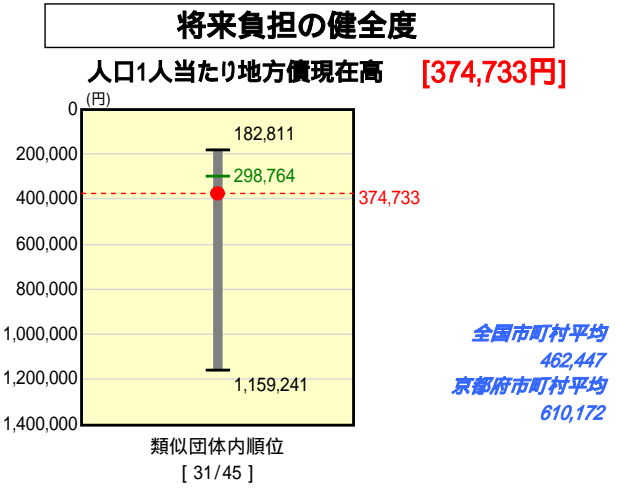
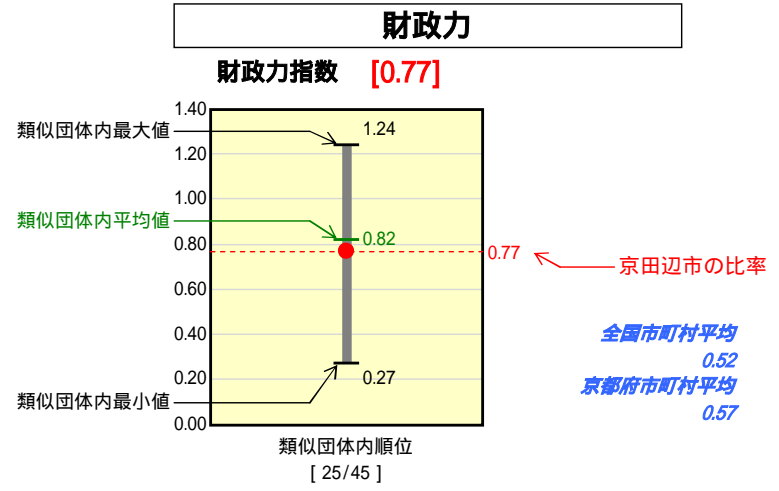


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

京都府 京田辺市

人口	60,209	人(H18.3.31現在)
面積	42.94	km ²
歳入総額	20,825,259	千円
歳出総額	20,563,998	千円
実質収支	69,691	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言。

分析欄

【財政力(財政力指数)】
好調な企業業績により、市税(法人税割)が増加し、昨年度から0.01ポイント増加している。今後は企業立地の推進や市税滞納率の向上に努め、財政基盤の強化に努める。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】
児童手当や医療助成費などの扶助費や公債費が伸びたことから、類似団体平均を上回っている。今後は人件費の削減(H17からH22の5年間で1,474百万円削減)や補助金の見直し(H17からH22の5年間で177百万円削減)等により、経常経費の削減に努め、比率の改善を図る。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】
近年実施した都市基盤整備や生活環境整備により、地方債残高が増加している。今後は総合計画に定める普通建設事業の計画的な実施により、地方債の発行を抑制し、比率の改善を図る。

【将来負担の健全度(人口1人あたり地方債現在高)】
近年の投資的経費の増加により、過去5年で約1.3倍に増加し類似団体平均を上回っている。今後は総合計画に定める普通建設事業の計画的な実施により、地方債の発行を抑制する。

【給与水準の適正度(ラスパイレズ指数)】
給与と構造改革や職員数の削減等により、昨年度から1.9ポイント低下している。今後も定員管理の適正化を進める。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】
幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営で実施し、他町の消防救急業務を受託しており、類似団体平均を上回っている。組織再編や民間委託等を進め、職員数を削減(H17からH22の5年間で10%削減)する。

【人件費・物件費等の適正度(人口1人あたり人件費・物件費等決算額)】
類似団体平均を上回っているのは、幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営で実施しているため、今後は組織再編や民間委託等を進め、人件費・物件費等を削減する。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。